

坑口より循環しつつ炭車引く  
八料をワイヤロープは続きぬ

歌集『炭鉱の日々』より

## 石炭記念館

# 炭鉱の語り部講座

テーマ「炭鉱で古くから使われてきたエンドレス巻上機について」

講師 木下幸吉氏(石炭記念館語り部ボランティア)

平成29年6月25日(日)

時間:13:30~15:00 (※定員20名)

会場:石炭記念館2階

参加費:無料

### きのしたこうきち 木下幸吉氏 略歴

1930(昭和5)年生まれ。1946(昭和21)年に東見初炭鉱に入社。1956(昭和31)年、沖ノ山炭鉱との合併に伴い、沖ノ山炭鉱に転勤し1963(昭和38)年には沖ノ山電車堅坑槽の建設班として工事に携わる。また、炭鉱勤務の傍らで石川啄木歌集との出会いをきっかけに炭鉱をテーマとした短歌を数多く詠み、1950(昭和25)年に歌誌「あらつち」の会員、後にアララギ会員となる。

現在、石炭記念館炭鉱の語り部ボランティア、炭鉱を記録する会会員、宇部短歌協会副会長。著書に『歌集 炭鉱の日々』。

炭都・宇部の歴史を今に伝える、日本初の石炭記念館

宇部市石炭記念館

UBE Coal-mining History Museum

山口県宇部市大字沖宇部 ときわ公園内

TEL:0836-31-5281

FAX:0836-51-7205(ときわ公園管理課)

<https://www.tokiwapark.jp/sekitan/>